

地方公共団体名	長野県塩尻市
所属部局 担当者名	商工観光部ゼロカーボン GX 推進プロジェクト 担当：係長代理 二木 義文
地域の抱える 課題	<p>【環境・脱炭素に関する課題】</p> <p>脱炭素と経済性・社会性が両立した好循環な取組の実現に向け、次のような課題がある。</p> <p>○再生可能エネルギーの生産</p> <p>全国的にも年間日照時間の多い地域であり太陽光による再エネポテンシャルが高いが、既存住宅への太陽光発電設備の導入率が低い。また、市外業者による大規模太陽光発電施設が多くエネルギーの地産地消に課題がある。</p> <p>○交通分野における脱炭素化</p> <p>AI オンデマンドバス、EV 自動運転バスの実証、MaaS 連携、交通分野へのナッジ活用など自家用車から地域公共交通機関への誘導を行ってきたが、地域DXと連動した更なる取組や他分野での省エネにつながる取組に波及させたい。</p> <p>【同時解決したい地域の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消による地域内循環 ・地域 DX の推進による住民の QOL 向上 ・塩尻市オリジナルの就労支援モデル KADO を活用した地域人材の活躍 <p>【キーワード】</p> <p>行動変容、再エネ普及、新エネ実証、地産地消、地域公共交通</p>
地域のありたい 未来	生活や経済活動で、エネルギーをはじめ調達可能な資源が活用されて生活の充実や楽しみに

	なっているまち
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ① 民間事業所や既存住宅への太陽光発電施設の導入（PPAなど民間活力の活用も検討） ② 地域公共交通への転換促進（EV、カーシェアリング、ナッジ、交通DX、MaaS等の活用） ③ 地域内における再生可能エネルギーの可能性の研究
企業に求めたい内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 卒FIT後の余剰電力を市内で活用できる事業の提案 ・ 既存住宅への太陽光発電設備の普及・促進事業の提案 ・ ナッジ等を活用した脱炭素社会に向けた行動変容を促す事業提案（電気・自動車・ライフサイクルなど） ・ 自動車保有数の削減につながる提案 ・ 公共施設等への水素利活用の提案 ・ 中小企業のカーボンニュートラルに向けた支援